

北竜町地域福祉実践計画

(自) 令和 5 年 4 月 1 日

(至) 令和 1 0 年 3 月 3 1 日

(5 ヶ年計画)

社会福祉法人

北竜町社会福祉協議会

はじめに

社会福祉法人 北竜町社会福祉協議会
会長 山本 剛 嗣

少子高齢化、人口減少問題が大きな課題となっている今日、核家族化の進行により、家庭や地域における相互扶助が薄れがちになり、地域全体の連帯感も希薄化してきていることが懸念されています。

これからの地域づくりは、住民一人ひとりが住み慣れた地域で、心豊かに安心安全な生活をおくれる仕組みを構築し、そのことを地域に根づかせていくことが大切であります。

そのためには、住民が抱える様々な生活課題の解決や、生活環境の支援のために北竜町、各町内会、関係機関等との連携を深め、住民一人ひとりの努力（自助）、住民同士の相互扶助（共助）、公的制度による支援（公助）によって、取り組んでいく必要があります。北竜町ではこれまで、高齢者等の在宅福祉サービスの中心的な事業所として、その役割を北竜町社会福祉協議会が担って参りました。

平成12年4月から導入された介護保険制度は、これまでの福祉制度からの大きな転換期となり、その後幾度の制度改正を得て今日に至り、要介護や要支援状態の方々、更には、介護予防を必要とされる方に対する様々なサービスを、それぞれの事業者（所）が、その役割を果たしております。

高齢化率（65歳以上人口）が44%を超える中、北竜町では、碧水地域支え合いセンター、ココワ内に和地域支え合いセンターを整備し、地域住民によるボランティア活動の支援を受けながら、健康寿命の延長、在宅での生活を助長するための様々な方策により、要介護状態になる時期を少しでも遅らせ、在宅において快適な生活をおくれることが出来るよう、地域全体で取り組んでおります。

わずかな支援や見守りを、負担にならない手助けを行うことで、在宅での生活を維持できるよう、これからも必要な支援の構築に努めて参ります。

また、各町内会とも連携を図り、福祉委員を配置し、地域での孤立者や見守りにも力を入れ、ネットワークづくりも行って参ります。

北竜町が策定した「北竜町総合計画」（地域福祉計画）との整合性を充分に図り、今、求められている社会福祉協議会の役割を的確に捉え、住民の皆様にとって、住みよい町づくりを目指していきたいと考えております。

令和2年より続いている新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域での交流や活動が思うように出来ない状況下にはありますが1日も早く収束することを願い、今後も予防対策・感染症対策にも取り組んで参ります。

目 次

第1章 地域福祉実践計画の基本事項	1
1 計画策定の趣旨	
2 実施主体	
3 計画期間	
4 基本目標	
5 基本計画	
6 計画の推進と評価	
第2章 北竜町の地域福祉の課題	2
1 地域の現状	
2 地域福祉の課題整理	
第3章 地域福祉実践計画	1 2
1 支え合う地域づくり	
2 福祉サービスの体制づくり	
3 人や地域を育てる仕組みづくり	
4 地域とつながる社協づくり	
資料編	
1 高齢者世帯等の状況	1 6
2 障がい者の推移	
3 北竜町社会福祉協議会の指標	1 7
4 北竜町社会福祉協議会の組織事業図	
5 アンケート用紙	

第1章 地域福祉実践計画の基本事項

1. 計画策定の趣旨

社会福祉法第107条に基づく「北竜町総合計画」（地域福祉計画）を基本として、社会福祉協議会が策定する地域福祉実践計画は、相互に補完・補強し合う関係にあり、この2つの計画が一体となり、北竜町の地域福祉の推進を図っていくことが求められています。

少子高齢化、核家族化に対応する北竜町における地域福祉事業に、行政、社協、町民が協働する中で計画的に取り組むことを目的に、第1期北竜町地域福祉実践計画を策定します。

また、本計画の策定にあたっては、町内会福祉委員のご理解を頂き、65歳以上の高齢者の方々へのアンケート調査、集計後における計画策定の会議等、関係機関との連携を図ります。

2. 実施主体

社会福祉法人 北竜町社会福祉協議会

3. 計画期間

本計画の計画期間は、令和5年度から令和9年度までの5ヶ年間とします。

4. 基本目標

「共に支え合い、安心して安全な福祉の地域づくり」

5. 基本計画

- (1) 支え合う地域づくり
- (2) 福祉サービスの体制づくり
- (3) 人や地域を育てる仕組みづくり
- (4) 地域とつながる社協づくり

6. 計画の推進と評価

本計画は、定期的を開催する理事会、毎年度開催する評議員会において、施策の実施状況や推進する上での課題点、問題点を的確に把握し評価していくこととします。

第2章 北竜町の地域福祉の課題

1 地域の現状

□北竜町の現状と課題

(歴史と自然)

北竜町は、明治26年に千葉県本埜村からの開拓団によって歴史を刻みました。町内を流れる雨竜川と恵岱別川は豊かな清流を保ち、肥沃な大地を一望できる美しい田園風景と自然は、先人の弛みない努力と汗の結晶であります。令和4年には開町130年を迎えました。

(産業)

昭和55年に町内一円に「ひまわりを咲かせる1戸1アール運動」を発端に、今では作付け面積(23.13ha、200万本の向日葵)日本一を誇る「ひまわりの里」を中心に、サンフラワーパーク北竜温泉を拠点とする観光振興を図り、ひまわりをシンボルとした明るい町づくりを推進しております。

また、平成2年には「国民の命と健康を守る安全な食糧生産の町」を宣言し、町の特産品「ひまわりライス」「ひまわりメロン」「黒千石大豆」など、ひまわりブランドとして消費者の皆様に提供しています。

特に米づくりでは、全農家が減農薬栽培に取り組み、消費者が求める安心・安全な高品質米の生産基地として、平成18年にはトレーサビリティをWEB上に公表する「生産者情報公表農作物JAS」を米としては、日本で唯一の取得を行っております。また、平成28年にはひまわりライス生産組合が「日本農業賞大賞」を受賞しております。

(人口)

昭和35年に人口6,463人をピークに、年々人口は減少し(過疎化)、令和4年4月1日現在1,701人となり、稲作を中心とする純農村の町であります。

少子高齢化の時代に入り、年々高齢化率は上昇し、令和4年4月1日現在44.0%となっております。生産人口、年少人口が増加しない状況は今後も変わらない状況が見込めます。

(地域づくり)

農家人口も減少し、核家族化が進み、家庭や地域での支え合い機能が衰弱する傾向にあり、また、社会状況や生活スタイルの変化等により、

各家庭が抱える問題は、複雑化かつ多様化しています。

高齢になっても普通の生活をおくるため必要となる移動支援、災害時支援、見守り、声掛け等の複数の支援活動が不可欠となってきています。

これらの課題を解決するためには、町民皆さんの「共に支え合う地域づくり」が必要であり、行政をはじめ、町内会、関係団体、事業所等がそれぞれの役割を果たし、互いに情報の共有と連携を図りながら、一体となった取り組みを推進することが重要であります。

(介護サービス・福祉サービス)

町内には、昭和 61 年に開設した「特別養護老人ホーム北竜町永楽園」は、入所（80 床）、ショートステイ（10 床）、デイサービスセンター（1 日 10 人）を整備し、施設・在宅サービスの中心的な役割を担っています。

また、平成 20 年には NPO 法人による「認知症対応型グループホーム」が開設され、現在は 2 ユニット（18 名）で運営されております。

一方、訪問等による在宅サービスは、その中心を社会福祉協議会が担っており、訪問介護、通所介護（介護予防）においては、介護保険法に基づく事業所の指定をそれぞれ受け、また、障がい者に対する訪問介護事業所の指定も受けて、事業を推進しております。

更には、北竜町からの受託事業として（自立ヘルパー、養育支援訪問、配食、電話、移送、除雪、たんぽぽクラブ事業などの各種のサービス）在宅サービスを提供しております。

令和 3 年度より、町より生活支援コーディネーター 2 名を受託事業として開始し、北竜町における高齢者へのサービスの資源調査や利用ニーズ等、地域包括支援センターや関係機関等と連携し、新しいサービスの発掘やネットワークづくり等を行っております。

平成 12 年にスタートした介護保険制度導入以降も、在宅サービスを実施する民間事業者が北竜町に参入することはなく、北竜町が実施する各種福祉サービスを社会福祉協議会が受託事業として実施しています。

□北竜町社会福祉協議会の現状と課題

(現在の状況)

社会福祉協議会では、共同募金委員会、ひまわり長寿会連合会（老人クラブ）、身体障がい者福祉協会、遺族会、和忠魂碑を守る会、ひまわりボランティア協会、ボランティア連絡協議会の 7 団体の事務局を担い、老人福祉センター、碧水地域支え合いセンターの 2 施設を町より指定管

理として委託されております。

また、和地域支え合いセンター、及び、碧水地域支え合いセンターを利用して、「笑顔の会」「碧水支え合いの会」のボランティア団体による活動が週3回行われており、活動の支援も行っております。加えて、両センターを利用して、北竜町で実施している「まるごと元気アッププログラム」、社会福祉協議会で実施する「たんぽぽクラブ事業」を、それぞれ週1回開催し、地域住民の皆さんが参加しやすい環境づくりに努めております。

(財源)

社会福祉協議会の自主財源は、町内各世帯より（1世帯600円）年会費をいただき、また、町内各事業所にあっては賛助会員（1事業所年10,000円：12賛助会員）となつていただいております。また、寄付金等の収入により貴重な財源が確保されておりますが、社会福祉協議会の財政状況は極めて厳しく、北竜町より財政支援を受けております。

(人材確保)

一方、マンパワー（ホームヘルパー等）の確保も重要となっており、職員の専門性、知識の習得、技術の向上、社会情勢や時代の流れに対応した多様性が求められてきております。必要となる資格の取得、研修の場への参加等、可能な限りにおいて対応をしながら、今後とも、利用者の皆様へのサービス提供に支障をきたさないよう、北竜町と連携を図りながら、質の高いサービスの提供を行って参ります。

(福祉委員)

当計画を策定するにあたり、各町内会と社会福祉協議会との小地域ネットワークを構築するため、町内会に「福祉委員」を配置（令和4年1月～）し、地域の活動にも力を入れていきます。

地域での支援や見守りを必要とする方の情報共有、サービスの必要性、課題やニーズの把握等を町内会、町行政、地域包括支援センター、民生委員児童委員等とも連携し、地域づくりを推進して参ります。

(やわら保育園)

平成31年4月から、北竜町より保育園で働く保育士を社会福祉協議会の職員として採用し、令和5年度より、やわら保育園の維持管理及び運営に対して、町より指定管理事業として受託することとなりました。

長年にわたり、保育園を運営されてこられた実績と基盤を継承し、新

たな保育園の方針・目標を定め、町行政の指導を受けながら、北竜町の将来を担う子ども達の健全な育成を図り、園長を中心に、保育士全員が地域に根ざした保育園運営を実施して参ります。また、地域子育て支援センターについても、保育園に入園されるまでの乳幼児と、その保護者の支援を行って参ります。

(生活困窮者就労準備支援事業)

令和3年度から、北海道からの受託事業として、北海道社会福祉協議会の事業として開始されました。

町内での引きこもりの方で、就労に意欲のある方に対して、そらち生活サポートセンター（事業所：月形町）のご指導をいただき、北海道社会福祉協議会と連携して対象となる方への支援を行って参ります。

2 地域福祉の課題整理

北竜町地域福祉実践計画の策定にあたり、在宅で生活されている高齢者の方々を対象としたアンケート調査、福祉委員等との懇談会、関係機関等との懇談から、北竜町において暮らし続けていくための課題やニーズの必要性について、取りまとめました。

アンケート調査は、65歳以上の方で在宅生活をされている高齢者を対象に各種の事業において、生活支援コーディネーターのご協力のもと実施しました。

既存のサービス以外にも、今後必要となる新たなサービスの発掘や、生活体系の変化、将来への不安等、貴重なご意見をいただきました。

今回、初めて策定する計画のため、不慣れな点や質問項目等に課題もありましたが、現状の生活をする中での問題点等を把握するための資料となりましたことに、ご協力をいただきました皆様に感謝を申し上げます次第であります。

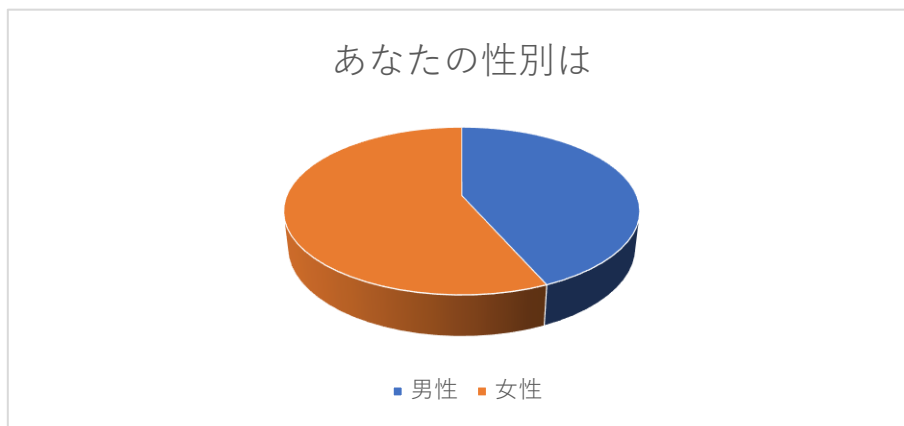
特に、各老人クラブの会長さん役員さんには、例会等の中でご尽力を賜りましたことに、心よりお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

なお、アンケートの結果は次のとおりです。

現在の北竜町内における高齢者の方々の生活実態と、おかれている状況等、必ずしも充分ではありませんが、把握することができたと思えます。アンケートの結果は6ページ以降に掲載させていただきます。

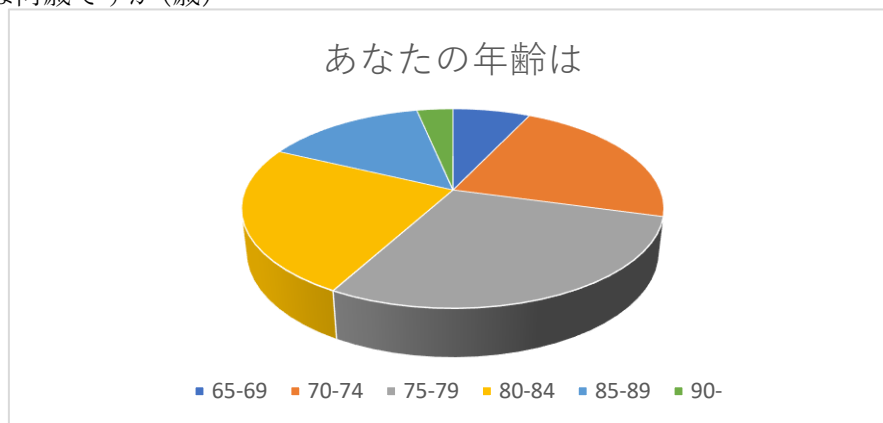
問1 あなたは男性、女性

男性	92
女性	120
	212



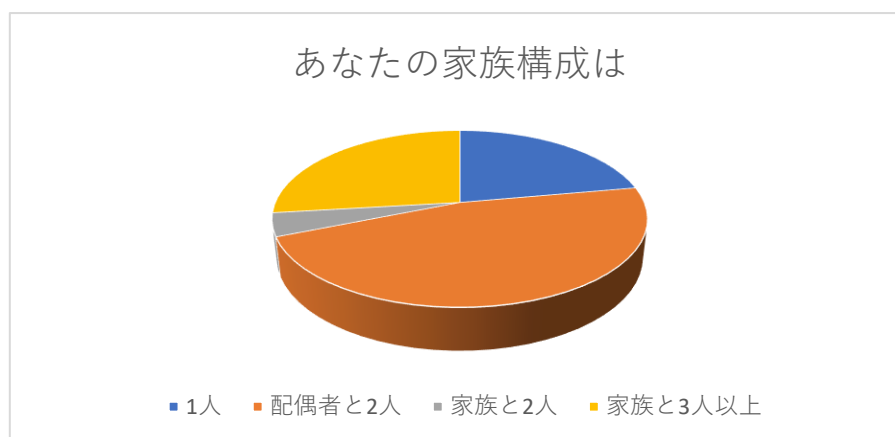
問2 あなたの年齢は何歳ですか(歳)

65-69	15
70-74	47
75-79	61
80-84	51
85-89	31
90-	7
	212



問3 あなたの家族構成は

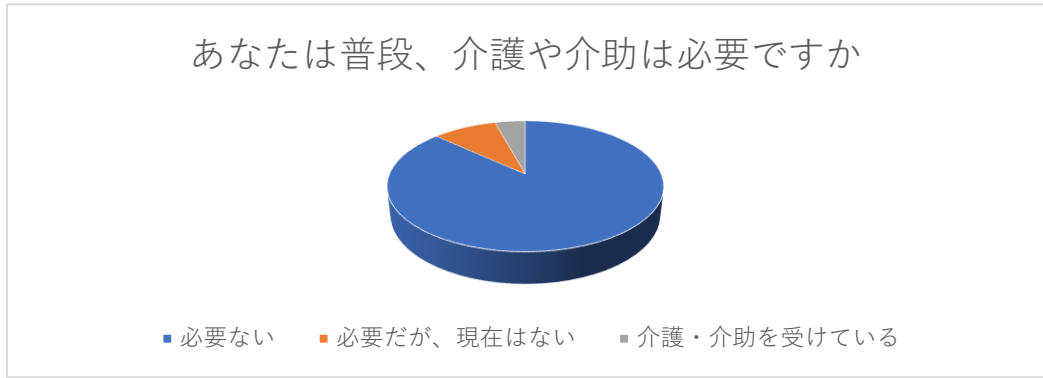
「配偶者と2人」の方が47%
 「家族と3人以上」の方が27%
 「1人暮らし」の方が22%
 「家族と2人」の方が4%



1人	47
配偶者と2人	99
家族と2人	9
家族と3人以上	57
	212

問4 あなたは普段、介護や介助は必要ですか

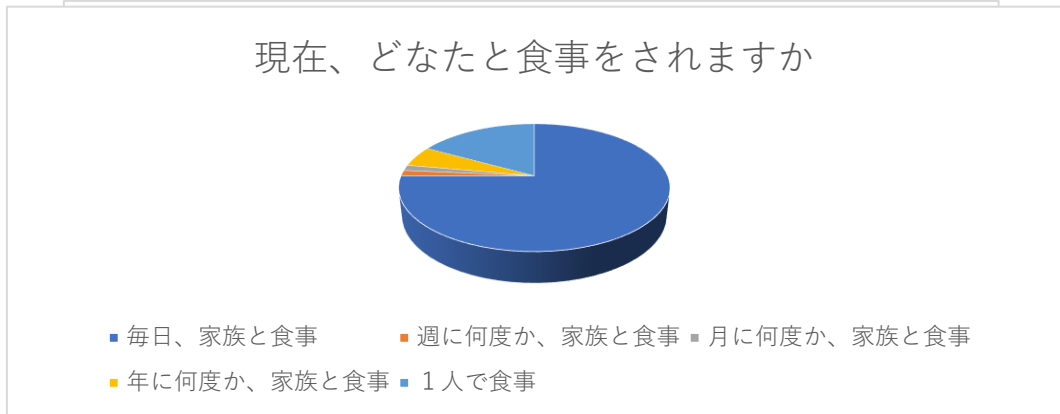
「必要ない」方が87%でした



必要ない	184
必要だが、現在はない	19
介護・介助を受けている	9 (コスモスクラブ 5、ヘルパー 2、配食 2)

問5 あなたは、現在、どなたと食事をされますか

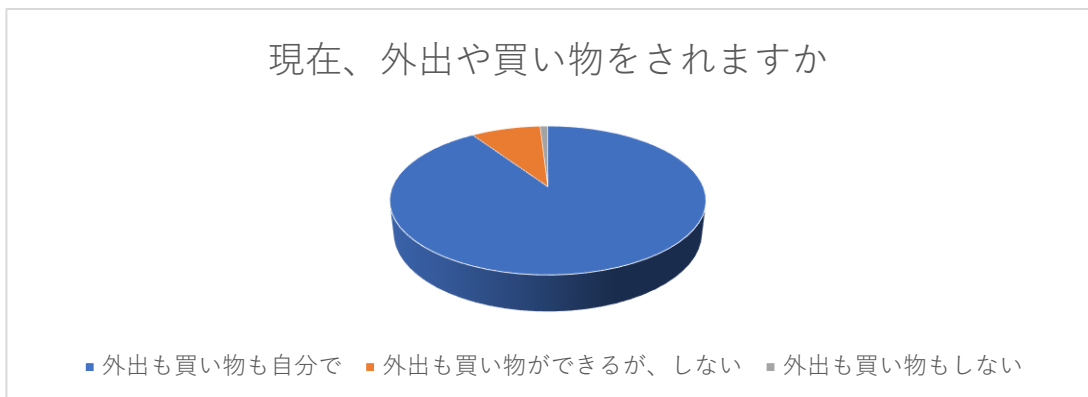
「毎日家族と食事」をする方は75%
一方「1人で食事」をする方は17%



毎日、家族と食事	159
週に何度か、家族と食事	3
月に何度か、家族と食事	3
年に何度か、家族と食事	11
1人で食事	36

問6 あなたは、現在、外出や買い物をされますか

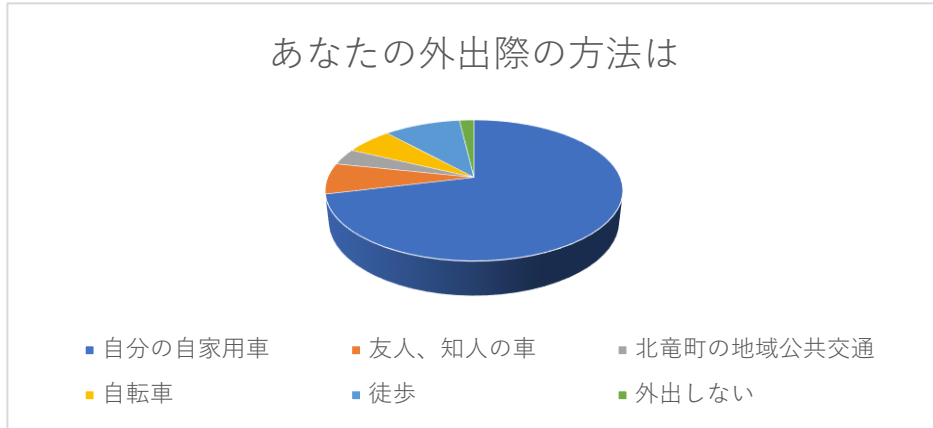
「自分で」できる方は91%



外出も買い物も自分で	192
外出も買い物ができるが、しない	18
外出も買い物もしない	2

問7 あなたの外出の際の方法を教えてください

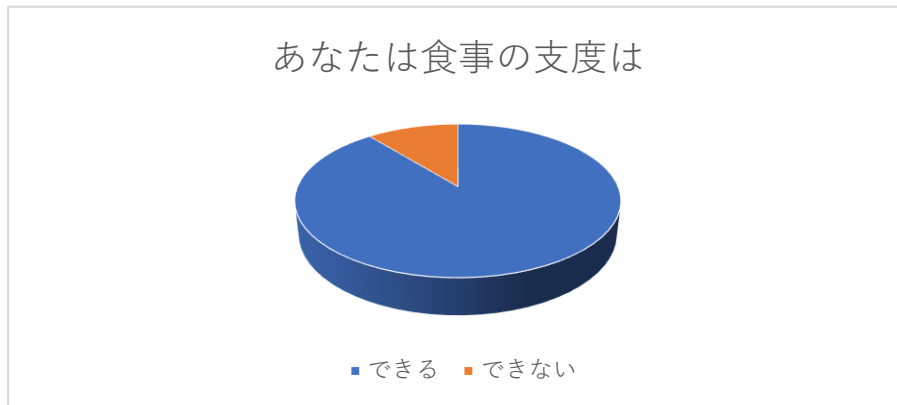
「自家用車」の方は
71%
「徒歩」の方は10%



自分の自家用車	151	(7割の方が自家用車利用)
友人、知人の車	15	
北竜町の地域公共交通	8	
自転車	13	
徒歩	21	
外出しない	4	

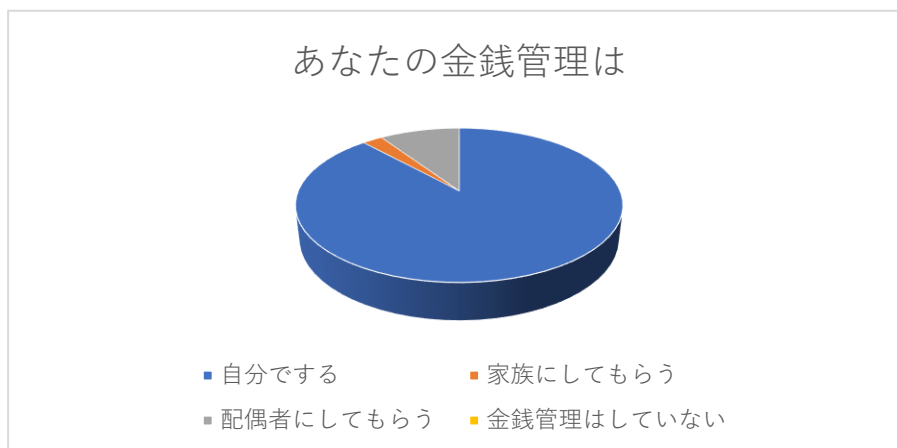
問8 あなたは、現在、食事の支度は出来ますか

できる 189
できない 23
(出来ない方は男性が9割)



問9 あなたの金銭管理は、現在、誰がされていますか

「自分です」方は
88%

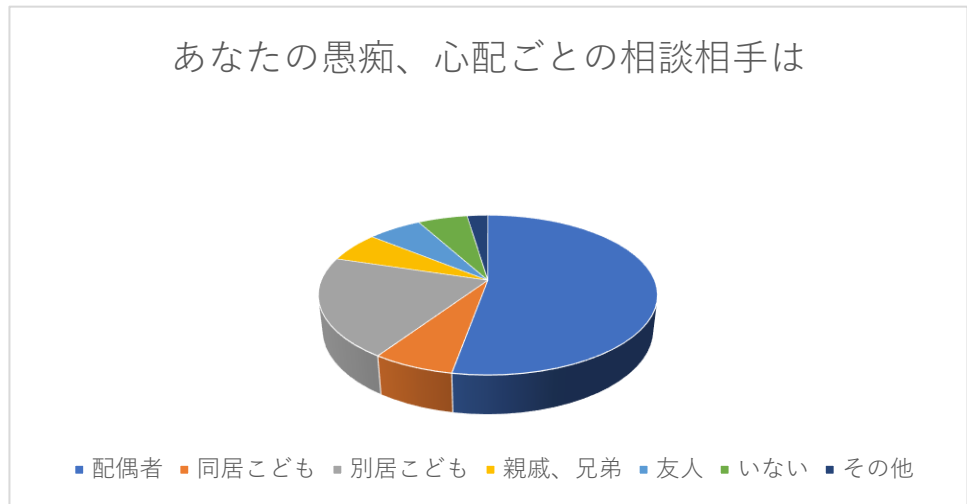


自分です	187
家族にしてもらう	5
配偶者にしてもらう	20
金銭管理はしていない	0

問10 あなたの愚痴や心配ごとの相談相手はどなたですか

配偶者	112
同居こども	14
別居こども	43
親戚、兄弟	13
友人	13
いない	12
その他	5
(心配ごとがない 5)	

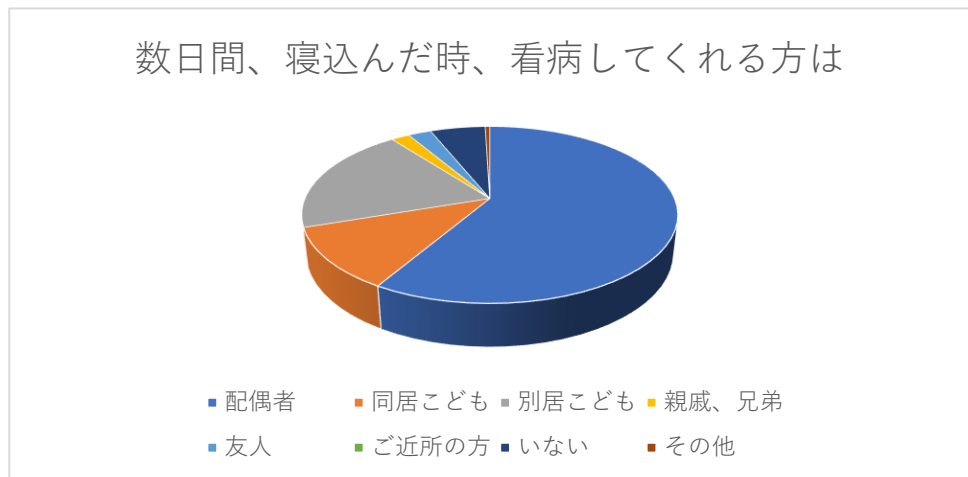
約半数の方は[配偶者]
次に[別居のこども]
が続きます



問11 あなたが数日間、寝込んだ時に看病してくれる方はどなたですか

配偶者	124
同居こども	24
別居こども	42
親戚、兄弟	4
友人	5
ご近所の方	0
いない	12
その他	1

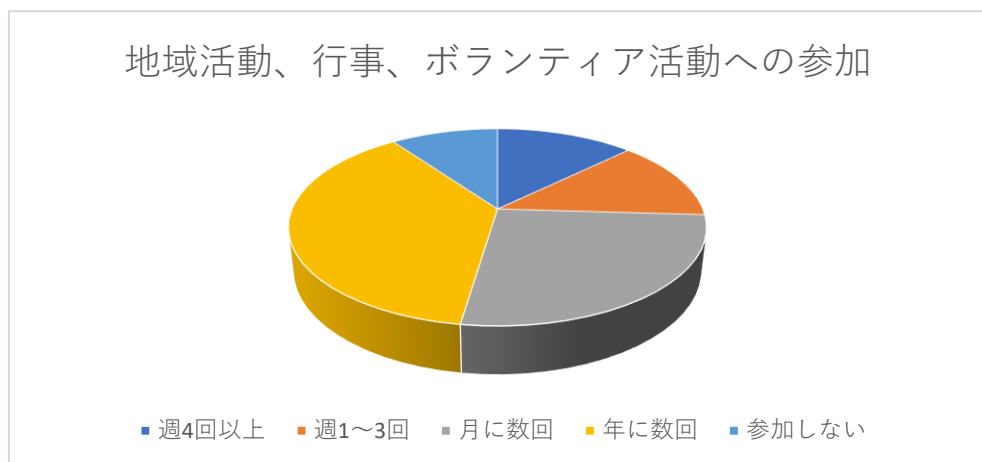
約6割の方は[配偶者]
次に[別居のこども]
が続きます



問12 あなた地域活動、行事、ボランティア活動に参加されていますか

週4回以上	27
週1～3回	28
月に数回	56
年に数回	80
参加しない	21

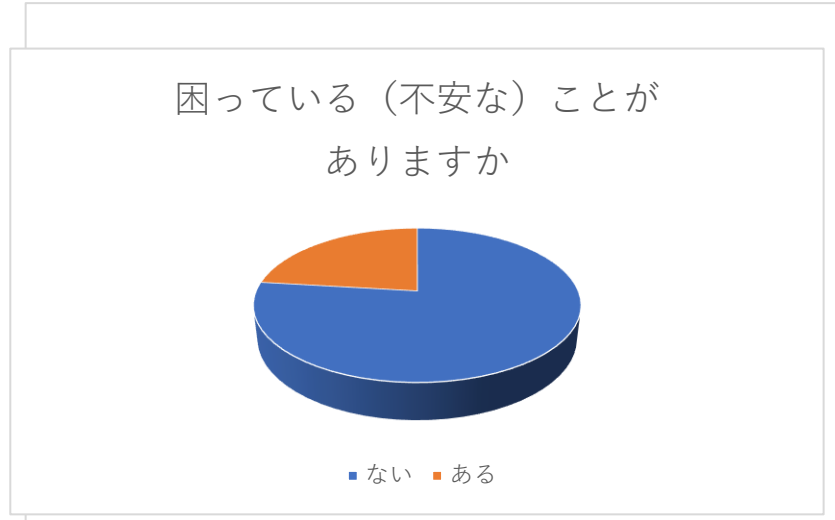
(週に26%の方
月に26%の方
年に38%の方)



問13 あなたの現在、困っている(不安な)ことがありますか

ない	163
ある	49
健康-体調	20
配偶者の病気	8
コロナ・ニュース	5
物価・年金	3
子どもの事	2
将来の生活	8
免許	3

[ない]方は全体の77%



問14 こんなサービスや支援があつたら良いと思うことはありますか
(自由記入)

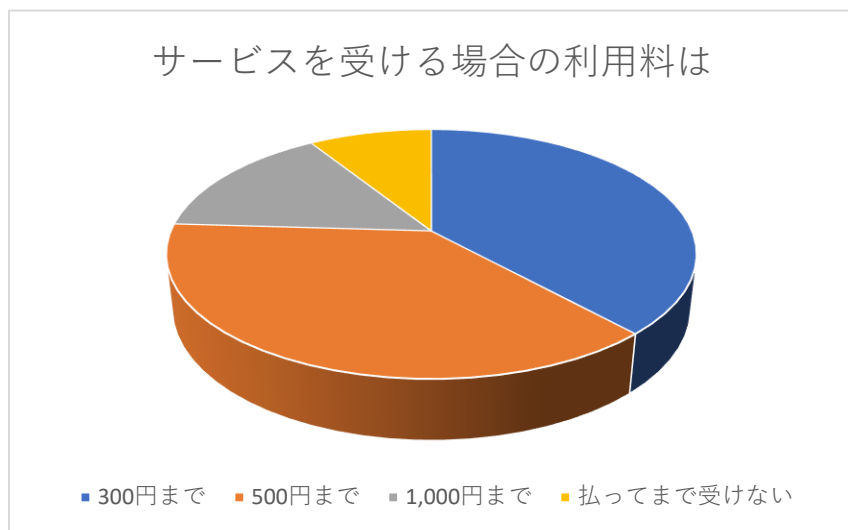
通院サービス	36	入浴サービス	3
買い物サービス	18	見守り・声掛け	3
除雪サービス	13	交通網の整備	2
配食サービス	10	高齢者住宅充実	1
ゴミ出しサービス	6	地域全体で支え合う	1
移送サービス	5	集合サービス	1
家事援助・生活全般	4	移動販売	1
		洗濯サービス	2
		家周辺の草取り	2

「通院サービス」「買い物サービス」「除雪サービス」が今後必要と思う方が多くなって
おります。既存のサービスを含め、新しいサービスの発掘も必要な時期にきています

問15 何かのサービスを受けたい場合、いくらぐらいの利用料だと受けますか

300円まで	81
500円まで	80
1,000円まで	32
払ってまで受けない	19

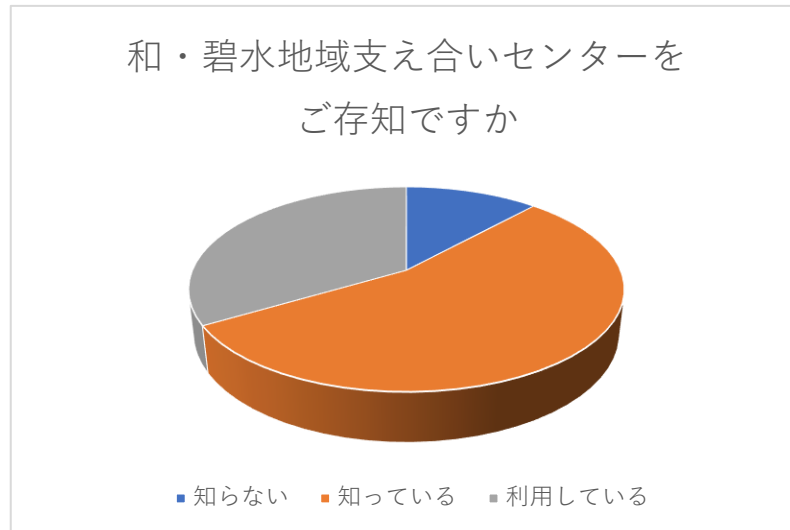
利用料の調査では
300円までが38%
500円までが38%
1000円までが15%
払ってまで受けないが9%



問16 和・碧水両地域支え合いセンターをご存知ですか

知らない	25
知っている	116
利用している	71

約1割の方が「知らない」と答えられました



コロナ禍が進行する中で、社会福祉協議会が所管する事業等において、町内在住の65歳以上の皆さんを対象として、アンケート調査を実施させて頂きました。

今後の生活において、必要となるサービスの発掘やニーズの把握、更には将来に向かって、ご自身やご家族の健康、生活確保のために、貴重なご意見をいただくことが出来ました。大変ありがとうございました。

初めてのアンケート調査で、多々至らない点もありましたが、町民の皆様の温かいご理解とご協力を賜りましたことに、心より深く感謝とお礼を申し上げます。

ひまわりの町「北竜町」で、これからも安心安全な生活をおくれるように、町及び関係機関と連携を図りながら事業の推進をして参ります。

第3章 第1期地域福祉実践計画

基本計画	重点推進項目	具体的実施項目	中間年次計画
			令和7年度
1. 支えあう地域づくり	①地域の課題を発見、共有する仕組みづくり	<input type="checkbox"/> 日常的な住民ニーズを把握	
		・社協の事業や活動に対するニーズ把握	
		・福祉団体等との連携強化、課題等の把握	
		・町内会福祉委員との連携、課題等の把握	
		<input type="checkbox"/> 多様化する住民ニーズに対応	
		・行政との連携、多様化するニーズへの対応	
		・町内会からのニーズへの対応、調整	
	・生活支援コーディネーターとの連携		
	②地域活動を活性化する仕組みづくり	<input type="checkbox"/> 小地域ネットワーク活動の連携、推進	
		・町内会福祉委員への活動費交付	
		・地域での見守り、訪問、情報の共有	
		<input type="checkbox"/> 居場所づくりの推進	
		・地域支え合いセンターにおける活動支援	
		・関係機関等との連携、情報共有	
<input type="checkbox"/> 各団体、組織との協働の推進			
・ひまわり長寿会連合会との連携			
・各団体等との連携、支援			
2. 福祉サービスの体制づくり	①安心して暮らせる仕組みづくり	<input type="checkbox"/> 在宅福祉サービスの充実	
		・町からの受託事業の推進	
		・介護保険事業所としての推進	
		<input type="checkbox"/> 生活困窮者への経済的支援	
		・当会独自事業の貸付資金事業の相談、支援	
		・道社協生活福祉資金貸付事業の相談、支援	
		<input type="checkbox"/> 福祉団体との連携強化	
		・各福祉団体の事務局を担い、適正化を図る	

基本計画	重点推進項目	具体的実施項目	中間年次計画	
			令和7年度	
3. 人や地域を育てる仕組みづくり	①地域福祉を担う人づくり	□ボランティアの育成		
		・ボランティア活動の普及を図り、人材育成の推進		
		・ボランティア連絡協議会の運用		
		・ボランティア研修会等の開催		
		□マンパワーの確保		
		・社協事業の推進のためのマンパワー確保		
		・社会福祉に関わる専門職との連携		
4. 地域とつながる社協づくり	①よくわかる社協づくり	□住民に理解される社協活動の推進		
		・社協だより(ほほえみ)の発行		
		・ホームページの随時更新		
		・社協事業の啓発、普及		
		□地域福祉実践計画の適正運用		
		・地域福祉実践計画の策定と運用		
		・計画の推進と評価		
		□社会福祉関連事業等との協働の促進		
	・社会福祉施設等との連携			
	②行政とのパートナーシップの形成	□行政とのパートナーシップの強化		
		・北竜町地域福祉計画との連携と推進		
		・各種福祉事業等との連携、協働の推進		
			・町理事者との懇談会の開催	
	③地域に根付いた組織づくり	□役員、職員の資質向上		
・理事、評議員の役割の明確化、機能強化				
・役職員等の研修会への積極的参加				
・事務量に見合った職員配置の検討				
④安定的な財源の確保	□財源確保の実施			
	・町内各戸からの会費納入、賛助会費の維持			
	・町より補助金、受託事業の安定的な確保			
	・社協事業の理解と寄付金の確保			

第1期地域福祉実践計画の評価・検証

基本計画	重点推進項目	実践項目	具体的実施項目	中間年度	事務局中間反省	評価		
				令和7年度		3 妥当	2どちらでもない	1当てはまらない
1. 支えあう地域づくり	①地域の課題を発見、共有する仕組みづくり	<input type="checkbox"/> 日常的な住民ニーズを把握	<ul style="list-style-type: none"> ・社協の事業や活動に対するニーズ把握 ・福祉団体等との連携強化、課題等の把握 ・町内会福祉委員との連携、課題等の把握 					
		<input type="checkbox"/> 多様化する住民ニーズに対応	<ul style="list-style-type: none"> ・行政との連携、多様化するニーズへの対応 ・町内会からのニーズへの対応、調整 ・生活支援コーディネーターとの連携 					
	②地域活動を活性化する仕組みづくり	<input type="checkbox"/> 小地域ネットワーク活動の連携、推進	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会福祉委員への活動費交付 ・地域での見守り、訪問、情報の共有 					
		<input type="checkbox"/> 居場所づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合いセンターにおける活動支援 ・関係機関等との連携、情報の共有 					
		<input type="checkbox"/> 各団体、組織との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり長寿会連合会との連携 ・各団体等との連携、支援 					
2. 福祉サービスの体制づくり	①安心して暮らせる仕組みづくり	<input type="checkbox"/> 在宅福祉サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・町からの受託事業の推進 ・介護保険事業所としての推進 					
		<input type="checkbox"/> 生活困窮者への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・当会独自事業の貸付資金事業の相談、支援 ・道社協生活福祉資金貸付事業の相談、支援 					
		<input type="checkbox"/> 福祉団体との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・各福祉団体の事務局を担い、適正化を図る 					

基本計画	重点推進項目	実践項目	具体的実施項目	中間年度	事務局中間反省	評価		
				令和7年度		3 妥当	2どちらでもない	1当てはまらない
3. 人や地域を育てる仕組みづくり	①地域福祉を担う人づくり	<input type="checkbox"/> ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の普及を図り、人材育成の推進 ・ボランティア連絡協議会の運用 ・ボランティア研修会等の開催 					
		<input type="checkbox"/> マンパワーの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・社協事業の推進のためのマンパワー確保 ・社会福祉に関わる専門職との連携 					
4. 地域とつながる社協づくり	①よくわかる社協づくり	<input type="checkbox"/> 住民に理解される社協活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・社協だより(ほほえみ)の発行 ・ホームページの随時更新 ・社協事業の啓発、普及 					
		<input type="checkbox"/> 地域福祉実践計画の適正運用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉実践計画の策定と運用 ・計画の推進と評価 					
		<input type="checkbox"/> 社会福祉関連事業等との協働の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等との連携 					
	②行政とのパートナーシップの形成	<input type="checkbox"/> 行政とのパートナーシップの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・北竜町地域福祉計画との連携と推進 ・各種福祉事業等との連携、協働の推進 ・町理事者との懇談会の開催 					
	③地域に根付いた組織づくり	<input type="checkbox"/> 役員、職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・理事、評議員の役割の明確化、機能強化 ・役職員等の研修会への積極的参加 ・事務量に見合った職員配置の検討 					
④安定的な財源の確保	<input type="checkbox"/> 財源確保の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・町内各戸からの会費納入、賛助会費の維持 ・町より補助金、受託事業の安定的な確保 ・社協事業の理解と寄付金の確保 						

■高齢者世帯等の状況

(各年度4月1日現在：単位：人)

	人口	世帯数	65歳以上人口			75歳以上人口			一人世帯	高齢者世帯	介護認定者数
			男	女	計	男	女	計			
平成27年度	2,021	852	365	483	848	192	284	476	104	162	147
平成28年度	1,969	849	366	479	845	197	295	492	115	159	145
平成29年度	1,943	849	369	480	849	199	303	502	119	161	145
平成30年度	1,884	836	369	461	830	208	295	503	127	161	142
令和元年度	1,840	835	352	451	803	203	296	499	120	157	138
令和2年度	1,784	820	340	437	777	206	284	490	124	153	136
令和3年度	1,737	805	340	424	764	203	273	476	124	153	137

■障がい者数の推移

(各年度4月1日現在：単位：人)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
身体障がい者	135	141	145	137	130	123	119
知的障がい者	25	23	22	22	24	25	25
精神障がい者	13	15	15	15	14	12	10
合 計	173	179	182	174	168	160	154

(指標)

ホームヘルパー

○訪問介護（介護保険・自立支援）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
職員数	3人	3人	3人	3人	3人

○コスモスクラブ（介護保険：介護予防事業）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
職員数	3人	3人	3人	3人	3人

○たんぽぽクラブ（嘱託職員）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
職員数	2人	2人	2人	2人	2人

福祉車両

○福祉有償運送（社会福祉協議会保有車）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
車両数	1台	1台	1台	1台	1台

○コスモスクラブ（北竜町保有車）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
車両数	2台	2台	2台	2台	2台

生活支援コーディネーター（北竜町より委託）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
職員数	2人	2人	2人	2人	2人